

2011-B					
拠出金・基金の名称:		国連人間居住財団拠出金(ソマリア2)			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: 国連人間居住計画 (UN-HABITAT)					
【所管官庁担当局課・室名】: 外務省国際協力局地球規模課題総括課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 AyahaIII(IV) 住宅・居住地建設事業: 2007年、2009年にソマリランド・ハルゲイサの国内避難民居住区AYAHA IIで実施した日本政府支援事業の延長と言える事業。本事業では、ハルゲイサの国内避難民居住区AYAHA IIIにおいて350世帯(2,100人)の住宅支援を行うとともに、生計支援や職業訓練を通じて就業機会の改善を行う。本事業を通じて、国内避難民とホストコミュニティとの緊張を軽減し、再統合・定住に関わる課題を取り込み、地域の安定に寄与する。					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成23年度	196,957	2,213	-	1ドル = 89円	100%
平成22年度	-	-	-	-	-
平成21年度	-	-	-	-	-
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 2011年末から2012年初めにソマリランド政府が行った国内避難民・帰還民の移転事業や他機関による支援事業により、本事業で当初予定されていたAYAHAMIIIの事業予定地が使用できなくなったため、関係パートナーと協議の上、新しく自治体から提供された居住区AYAHAIIVで事業を実施することとなった。ハルゲイサ南部の政府関係施設や学校等に住んでいた350世帯(2100)人を対象に土地の確保、住宅・水と衛生設備支援を行い、受益者たちの生活環境の改善を行った。また、建設技術等の生計支援に繋がる職業訓練や女性や若年層を対象とした社会経済プログラムを実施している。事業予定地の問題で実際の建設作業等が遅れたため、担当大使館と協議の上事業期間を延長してきたが、2013年8月末に終了する予定。					